

### 美術博物館の催し

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432 (〒659-0052 伊勢町12-25)  
〈月曜日休館・祝日の場合は翌火曜日※2月18日～22日は展示替えにつき休館〉

#### 【展覧会】「The Collection “具体躍進” “芦屋の画塾 芦屋のアトリエ”展」

美術博物館  
■会期 1月5日～2月17日・午前10時～午後5時(入館は午後4時30分) ■会場 第1展示室・ホール 第2展示室 ■内容 「具体躍進」芦屋の画塾 芦屋のアトリエ(要観覧料)  
【「具体躍進」展関連イベント】  
《ギャラリー・トーク》  
■日時 1月12日(土)午後2時～ ■会場 第1展示室 ■講師 当館学芸員 ■参加費 要観覧料

《講演会「つみとられた果実—その真相に迫る」》  
■日時 1月13日(日)午後2時～ ■会場 講義室 ■講師 横尾忠則現代美術学芸員 山本淳夫氏 ■参加費 要観覧料  
【「芦屋の画塾 芦屋のアトリエ」展関連イベント】  
《美博アトリエ・ワークショップ「あじのひらき」》  
■日時 1月19日(土)午後1時30分～3時30分 ■会場 体験学習室 ■対象 高校生以上20人(要予約) ■講師 園田学園女子大学短期大学部 幼児教育学科 准教授・倉科勇三氏 ■参加費 要観覧料 ■申し込み 1月14日(月・祝)までに電話で上記へ 定員に達し次第締め切り

#### 【展覧会】「昔の暮らし 飲む・食べる—昔の人の食文化—」展

■会期 1月5日～3月3日・午前10時～午後5時(入館は午後4時30分)  
■会場 歴史資料展示室 ■内容 食器や漁具・農具など、食事に欠かせない道具や、江戸時代の農具などにみられる人々の工夫にご注目(要観覧料)  
【「昔の暮らし」展関連イベント】  
《古文書講座「文書の形式とかな文字入門編part.1」》  
■日時 1月20日(日)午後2時～ ■会場 講義室 ■定員 20人(要予約)  
■講師 当館学芸員 ■参加費 要観覧料 ■申し込み 1月16日(水)までに電話で上記へ 定員に達し次第締め切り

#### 《見学会「芦屋神社と豆まき大会」》

■日時 2月3日(日)午後3時～ ■会場 芦屋神社 ■定員 30人(要予約) ■申し込み 往復はがきにイベント名・住所・氏名・年齢・連絡先を記入の上、1月20日(日)までに上記へ 応募者多数の場合は抽選

【観覧料】 一般300(240)円・大生200(160)円・中学生以下無料  
同時開催の観覧料も含む ( )内は20人以上の団体料金 高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちのかた、その介護のかたは各当日料金の半額 2月23日～3月3日は、「第30回芦屋市造形教育展」同時開催のため観覧料無料

#### 【春の芦屋アートバザール説明会】

春の芦屋アート・バザール(4月27日・28日)開催)出店者向けの説明会を開催します。出店を希望されるかたは、ご参加ください。  
■日時 1月20日(日)午前10時30分～正午 ■会場 美術博物館体験学習室 ■内容 個人の創作活動から生まれる作品の販売。骨董・リサイクル・古着などの既製品を扱うこと、営利目的として第三者(美術商・骨董店等)が介在することは出来ません。原則として作者(グループ)に直接店頭で販売していただきます。 ■対象 春の芦屋アート・バザール(4月27日・28日)の出店希望者 ■申し込み 直接会場へ

みんなで歌いましょう in 美博  
■日時 1月18日(金)午後1時30分～3時 ■会場 美術博物館 ■内容 楽しく歌い、展示鑑賞 ■費用 500円 持ち物 歌集(愛唱歌集) 直接会場へ  
問い合わせ I LOVE ASHIYA・加藤 ☎090-4296-1790

### 1月前半 GATV 広報番組ガイド

放送時間(15分)	内容	時間
オープニング	山中市長 年頭のごあいさつ	9:00
お正月特集	新春特別企画 市長に聞いてみよう！小学生から市長に質問～未来の芦屋へ～	12:00 15:00 18:00
お知らせ	1.17芦屋市「祈りと誓い」	22:30

※DVD VTR 貸出可  
■広報番組「あしやトライあんぐる」は、11ch(一部地域を除く)でご覧ください。  
■番組に関する問い合わせ 広報課 ☎38-2006 ■CATV全般に関する問い合わせ 株式会社ネット神戸芦屋(J:COM)カスタマーセンター☎0120-999-000



月若丸の叔父に当たる藤栄をよんで、「自分がなくなつた後は、月若丸を助けてもらいたい」と言い残して亡くなりました。  
藤栄は、月若丸の家に引き取りましたが、よくない考えを抱きました。月若丸の持っている土地を自分のものにし、月若丸を邪魔者にして、とうとう家から追い出しました。  
たまたま、修業僧の姿をした最明寺時頼が旅の途中に芦屋の里を通りました。日が沈み夕暮れになったので、浜辺近くの塩を焼いて、小さな草葺の小屋を見つけた。一夜の宿を取ることにしました。板で囲った隙間から月の光が漏れてくる小さな部屋ですが、きれいに清められていて、とてもよくない感じがする少年が目にとまりました。不思議に思

い、家の人に様子を尋ねると、それが、家であり、広い土地が月若丸物であることを書いた大切な書類を持っていることを知りませんでした。  
時頼は、深く月若丸に同情して藤栄のしたことを怒り、藤栄のいるところへ案内をせよとしました。  
その日、藤栄は立派な衣服を着て、笛や太鼓で船遊びを楽しみ、一曲を舞っていました。時頼は、静かにその曲を聴いて、見事な舞じゃ、もう一曲舞ってくださらぬかと声を掛けました。思わぬ人の声に藤栄は驚きました。全く落ち着いた僧の様子に、ますます怒り出しました。すると修業僧は、さつとがぶつていた笠を取って、大きな声で、「われこそ最明寺時頼である。諸国を修業して回るのは、このような間違いを正すためである」と厳しくいきました。  
藤栄ははじめ船遊びの人々は大いに驚きました。さらに時頼から大きな罪を償うべきであるが月若丸のすべての土地を返して今後は月若丸の家が栄えるように、一生懸命に勤めるようにと諭し、その罪を許しました。その後、藤栄は心を入れ替えて、月若丸に尽くすようになりました。その後、月若丸は平和な暮らしとともに、家も栄えるようになりました。



### シリーズあしや子ども風土記

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432

■シリーズ「あしや子ども風土記」は、美術博物館・市役所売店で販売しています

- 第2集「歴史さんぽ」・第3集「植物のかんざつ」
- 第4集「小さな生きものたち」・第5集「文学さんぽ」
- 第9集「写真で見る芦屋今むかし2」は各冊400円
- 第6集「芦屋の地名をさぐる」
- 第7集「写真で見る芦屋今むかし」
- 第8集「描かれた芦屋の風景」は各冊500円
- 第1集「伝説・物語」は完売しました。

### 谷崎潤一郎 記念館の催し

【冬の通常展】「谷崎潤一郎・人と作品」—特設展示「震災と文学」—

■会期 1月5日～3月24日・午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) ■会場 展示室 ■内容 谷崎の生涯と作品について展示。特設コーナーでは、三度の大地震と作家や文学作品との関係に焦点をあてます。関東大震災と谷崎、阪神・淡路大震災の村上春樹。東日本大震災の圧倒的な現実を前に、作家たちも果敢と立ちすくみ、やがてその経験を語り始めます。 ■観覧料 300円

【ロビーギャラリー】石井みや美「十二支と十二カ月」展

■会期 1月8日～2月11日・午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) ■最終日は3時まで ■会場 ロビーギャラリー ■内容 書道家・石井みや美氏の「ほっこり 書風で書かれた作品」を展示

《体験教室》■日時 1月13日・16日・17日・26日・27日・31日・2月1日・3日・10日・午後2時～4時 ■会場 講義室 ■定員 先着各16人 ■参加費 要観覧料(教材費別)

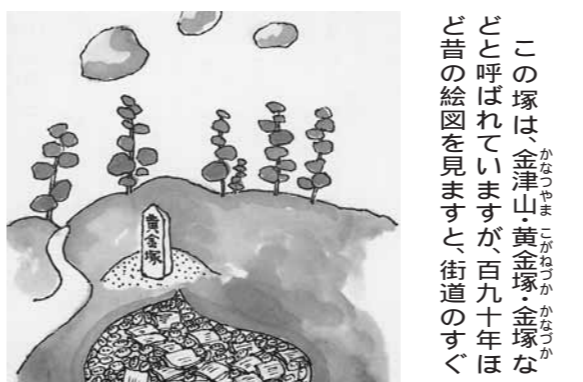
【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) 【1月の休館日】1日～4日(年始休館) 7日(月)・15日(火)・21日(月)・28日(月)

問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852

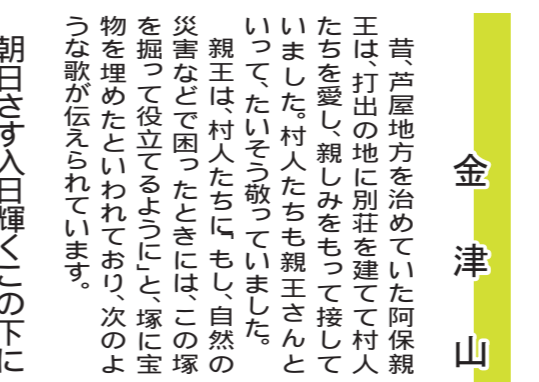
# あしやの伝説・物語

問合わせ 広報課 ☎38-2006

芦屋の伝説は、当時の人々が生活のなかで経験した不思議なことや悲しかったこと、うれしかったことなどを、その土地の山や水・塚・人物などに結び付けて伝えられたもので、歴史上の事実ではありませんが、その時代の背景とともに当時の人々の願いや考え方が、事実のような話となって伝えられたものです。今回は新年にふさわしく、いくつかの伝説・物語をご紹介します。



北の田んぼの中に大きな塚があった。その周りに道が作られ大きな松が描かれています。  
打出名所は、数々あれど、わけて密高い黄金塚と打出の神輿かき音頭にも歌われ、街道を行く人々がお参りする名所になっていました。  
今も金津山は阪神電車打出駅の少し北にあり、小高い塚は、金津山古墳と呼ばれ、大切に守られ、昔の打出の風景を伝えています。



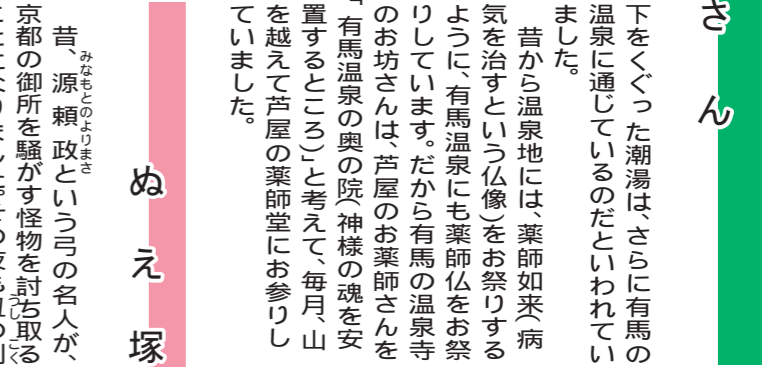
高いお坊さんで、行基さまといふ人が建てたと伝えられる立派なお寺があったようです。  
これまでに、このあたりの土の中からたくさんの古い瓦が見つかっていますが、まだお寺の建物の跡が見つかっていないので、この場所を「お坊さん」の跡と推測されています。江戸時代、この場所に薬師堂が建てられ、お薬師さんとして信仰されていました。  
かつて、薬師堂付近には、潮見の松と呼ばれた松の木がありました。昔、このあたりから芦屋沖を見るとき、紀州熊野和歌山県あたりに美しい虹のような潮筋が流れてきて、芦屋沖から薬師堂の下に通じ、潮湯が湧き出していたと云います。  
そして、熊野権現くまのこんげんの神様の刀によって、薬師堂の地



下をくぐった潮湯はさらに有馬の温泉に通じているのだといわれています。  
昔から温泉地には、薬師如來病気を治すという伝説をお祭りするように、有馬温泉にも薬師仏をお祭りしています。だから有馬の温泉寺のお坊さんは、芦屋のお薬師さん(有馬温泉の奥の院神様の魂を安置するところ)と考へて、毎月山を越えて芦屋の薬師堂にお参りしていました。



頼政は、弓矢を用意して静かに目を閉じ、神に祈り、空を見上げると、雲の間に怪しい影が見えました。この時とばかり、矢を放つと手ぬぎが、あり、大きな音とともに怪物が落ちてきました。よく見ると、頭がサルの体はタヌキ手足はトラ、尾はヘビという妖怪でした。  
人々は驚き、その死体を丸木舟に乗せて川に流したところ、淀川から大阪湾を流れ、はるか芦屋の浜に流れ着きました。これを見た村人たちは、たまたま恐れて、いねいに塚を作ったといわれています。



と呼ぶようになりました。  
昔の本に、鶴塚、芦屋川住吉川の間にあり、今は定かならずと書かれています。  
今、芦屋川に沿ったテニスコートの北側、芦屋公園の中に鶴塚があります。これが、大正六年に造られたものです。

### ヒューマンライツシアター 人生、ここにあり!

イタリアで行われた世界で初めての挑戦...精神病院の廃止  
そこで生まれた知られざる実話に、イタリア全土が笑って泣いた!

日時 1月26日(土) 午前10時～11時51分 午後2時～3時51分  
■会場 上宮川文化センター3階ホール  
■出演 クラウディオ・ビジオアニータ・カプリオーリほかジュリオ・マンフレドニア監督作品(2008年・イタリア映画・111分)  
■定員 各先着150人 \*直接会場へ

合言葉は「SI PUO' FARE!」

問い合わせ 上宮川文化センター ☎22-9229(上宮川町10-5)

### 平成25年 芦屋市消防出初め式

日時 1月13日(日) 午前10時～午前11時  
■会場 体育館・青少年センター 川西運動場 雨天中止  
■内容 市長式辞・表彰等・マーチング演奏 精進中吹奏楽部 だんじりばやし 精進地車保存会・模擬演技 少年消防クラブ・救急救助模擬演技・一斉放水

平成24年 芦屋市消防出初め式

※小学6年生までの来場者(先着200人)には、消防オリジナルグッズをプレゼント

問い合わせ 消防本部管理課 ☎38-2095